

えひめ消費者志向おもいやり自主宣言について

地球温暖化をはじめとする社会的課題に対処し、SDGs（持続可能な開発目標）を達成するため、愛媛県では、環境、人、地域に配慮した消費行動を「おもいやり消費（エシカル消費）」と位置づけ、普及啓発に努めているところですが、今後、食品ロス削減やプラスチックごみ問題等の直面する課題に対応していくためには、事業者と消費者、行政が相互理解の下、連携しながら取り組みを進めていくことが不可欠です。

このため、愛媛県では、消費者庁が推進している、事業者による「消費者志向経営」（消費者全体の視点に立ち、持続可能な社会の構築を目指す事業活動）と、本県の推進する「おもいやり消費」を支える事業活動を一体化し、行政や関係団体との連携を図りながら、本県独自の「えひめ消費者志向おもいやり経営」として普及してまいりたいと考えております。

御賛同いただく事業者には、本県に「消費者志向おもいやり自主宣言」を御提出いただき、主体的な取り組みを推進いただくとともに、行政や団体等との相互協力や消費者への活動状況の広報等にも配慮いただき、もってオール愛媛の体制でおもいやり消費の推進、SDGsの目標の達成を目指します。

消費者志向おもいやり自主宣言

- 消費者庁に対し、「消費者志向自主宣言」を提出するとともに、愛媛県に対し、その写し及び「えひめ消費者志向おもいやり自主宣言」を提出してください。
- 様式例は別添を参照していただき、「おもいやり消費（エシカル消費）」及び「消費者志向経営」等について、事業所における現在の活動や今後、新たに取り組む予定の活動について記載してください。「おもいやり消費」等の考え方については、裏面をご覧ください。
- 宣言事業所については、県HPをはじめ各種広報物等に掲載し、広く周知します。
- 宣言事業所には、毎年度末に取組状況をHPに掲載していただくとともに、県及び消費者庁に御報告いただく予定です。

SDGs

（持続可能な開発目標）



おもいやり消費の推進（愛媛県）

環境や人、地域に配慮した「おもいやり」のある消費行動。消費者一人ひとりが社会的課題の解決を考えて商品やサービスを選択したり、課題解決に取り組む事業者を応援したりしながら、様々な「おもいやり」を込めた消費行動をとることを推進。

SDGs 目標 12「つくる責任つかう責任」をはじめ、目標達成に深く関連。

（*全国的には「エシカル消費」として推進）

（例：環境へのおもいやり 認証商品選択、食品ロス削減、地球環境に配慮した生活
人へのおもいやり 開発途上国支援、障がい者支援
地域へのおもいやり 被災地支援、地産地消）

行政や関係機関との連携（愛媛県）

○SDGs（消費分野）の達成に向け、行政や関係団体と連携し、相互協力を行います。

（例：行政や団体等の実施する啓発イベントへの参加
行政や団体等の取組みと連動した商品の開発・広報PR活動の展開 など）

「消費者志向経営」（消費者庁）

消費者全体の視点	消費者の権利の確保及び利益の向上を図ることを経営の中心に位置付ける
健全な市場の担い手	消費者の安全や取引の公正性の確保、消費者に必要な情報の提供等を通じ、消費者の信頼を獲得する
社会的責任の自覚	持続可能で望ましい社会の構築に向けて、自らの社会的責任自覚して事業活動を行う

【消費者志向経営の取組の柱と取組の例】（消費者庁資料「消費者志向経営の推進について」抜粋）

事業者の組織体制の整備・充実

事業者の消費者に対する具体的な行動

<p>①経営トップのコミットメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費者志向の経営方針を内外に発信。 ○企業理念を従業員に周知し、浸透を図る。 ○リスク情報を経営トップに報告する体制構築。 	<p>⑤消費者への情報提供の充実・双方向の情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費者に分かりやすいウェブサイトや資料を作成。 ○契約に際し、十分に情報提供するとともに、適切に意向確認を実施。 ○商品情報や品質情報の提供（包装・容器、広告を含む）を充実、適正化。 ○消費者団体や地方公共団体と連携し、情報交換や情報提供を実施。 ○食育イベントや工場見学等開催。
<p>②コーポレートガバナンスの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「消費者の声」を取締役会等に共有し、改善を図る ○外部有識者との会議を開催し、開発や改善に活用。 ○内部統制システムの整備や法令等遵守の徹底。 	<p>⑥消費者・社会の要望を踏まえた改善・開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費者のニーズを先取りし、商品やサービスを開発。 ○<u>環境負荷軽減や自然との共生、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に資する取組や、商品等の開発を実施。ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点からの取組みを実施。</u> ○<u>エシカル消費に資する商品等の開発や取組みを実施。</u> ○健康増進や健康寿命の延伸につながる取組みや、商品等の開発を実施。 ○次世代育成や子育て支援につながる取組み。
<p>③従業員の積極的行動（企業風土や従業員の意識の醸成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○感謝や称賛の声を含む「消費者の声」を、事業者内で共有。 ○企業理念やコンプライアンスに関する研修を実施。 	
<p>④事業関連部門と品消費関連部門の有機的連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「消費者の声」を元に改善を推進する専任部署や関係部門で構成される委員会等を設置。 ○トラブル発生時に、関係部門が連携し対応。 	